

時局日誌 (五十八)

Y
H
生

六月八日

日香選鑽油及シオ浮鑽油最高販賣價格指定(商工省告示第六六三號) 生紡式ステールプリアイバー糸、梳毛式更生糸及紡毛式更生糸ノ製造工程ニ於テ生スル綿狀層最高購入價格及最高販賣價格指定(商工省告示第六六四號) 衣裳入籠、文庫、書類入籠、紙入籠、新聞入籠、二段タオル入及筆立最高販賣價格指定(商工省告示第六六五號) 事務文庫具販賣價格指定 昭和十六年二月告示第一五二號中改正 (商工省告示第六六六號) 公布

衢州縣城攻略戦における戦果のうち七日夕刻まで判明せるもの左の如し

(遺棄死體) 二、八一七(俘虜) 三、七五九(鹵獲品) 高射砲一四、山砲四、機關砲一、重機關銃一八、輕機關銃七三、迫撃砲八、拳銃八一六、彈藥多數 擲彈筒五、レール一千六百本、自動車四、馬匹三一、飛行機發動機三八 去る一日ベルリンにおける獨軍事最高司令部は「五月における獨潜水艦および空軍の米英軍需輸送船に對する攻撃は極めて効果的であつて米英船艇撃沈は百七十隻九十二萬四千トン(内百四十隻七十六萬七千四百トンは潜水艦による)の記録的數字を示した、その他に六十六隻が爆彈と魚雷を見舞はれ多大の損傷を受け

てゐる」と發表した、今春に入つて再び果敢に開始された獨潜水艦の大西洋攻勢は五月に入つてまさに白熱化の觀を呈してゐる、この獨潜水艦による相次ぐ米英輸送船の撃沈は米英當局が撃沈トン數及びその他の被害につき正確なる發表を行はず、その真相を隠蔽してゐるにも拘らず、これら兩國民をして事態の緊迫化をよく認識せしめ米の輿論は特に政府の善處とその有效なる對策を要求してゐる。

六月九日

内閣委員及各省委員設置制(勅令第五六六號) 農機具最高販賣價格認可(農林省

告示第三三八八號)工業用鹽化カリ及硫酸
カリ最高販賣價格指定(商工省告示第六
六七號)杞柳製品最高販賣價格指定(商
工省告示第六七〇號)杞柳製鞣販賣價格
指定昭和十五年十二月告示第八五六號中
改正(商工省告示第六七一號)工業用壓
縮酸素最高販賣價格指定(商工省告示第
六七三號)公布

畏き邊りでは、支那、滿洲をはじめ各
方面において聖戰遂行のために活躍、名
譽の戦、病死をとげた軍人、軍屬ならび
に生存者に對して、行賞の御沙汰あらせ
られ「支那事變第三十八回死没者論功行
賞」および「支那事變第三十三回生存者
論功行賞」として九日賞勳局ならびに陸
軍省から發表された。今回の行賞におい
て金鷄勳章叙賜の光榮に浴したものは、
死没者では昭和十六年三月内山兵團の宜
西突破作戦に感狀を授與せられた酒井康
雄中尉をはじめ森重大佐以下二千二百二十
六柱、生存者では横山大佐以下五十六名

また生存者として有難き恩命を拜したも
のの中には原住民の宣撫あるひは政治、
文化、經濟等各種の部門に活躍した軍屬
託多數が含まれてゐる。

灼熱のオールドスに至妙な機動戰を展開
敵第八戰區の前衛據點營盤召(包頭南方
四十キロ)を一擧に覆滅したわが精銳部
隊は息つく暇もなくなほも殘敵を追撃中
である。右戰團における戦果左の如し。

遺棄死體、四〇〇、鹵獲品、重機二、
輕機六、無線機三、山砲二、迫撃砲一
捕虜多數

進賢攻略に參加したわが〇〇部隊の九
日までに判明せる戦果次の通り。

敵遺棄死體一、〇二一、捕虜一九一(内
將校三)鹵獲品、迫撃砲一、重輕機八
小銃二二五その他彈藥多數

十日のイタリア参戰二周年記念日を前
にジョルナル・デ・イタリア紙は参戰以
來の赫々たる綜合戦果を次の如く發表し
てゐる。

△イタリア海軍側損失死者一、九五

四名負傷者二、七七六名行方不明八、

七五〇名、合計一三、四八〇名

△イタリア海空軍の戦果一、九四〇年

六月十日より本年五月三十一日に至る

(伊海軍によるもの)撃沈敵商船百二十
九隻、九十萬六千五百九十トン(伊空
軍によるもの)撃沈商船六十三隻四十
萬二千トン

パリ放送によれば英空軍は戰爆連合の
編隊をもつて八日午後北部フランス占領
地帯を攻撃したが、獨軍の猛砲火によつ
て七機を撃墜され何らの攻撃目的をも達
せずして遁入した。

情報局發表 本日午後四時、親任式を
行はれ左の通り發令せらる。

陸軍中將正四位
勳一等功五級 安藤紀三郎

任國務大臣

情報局發表 本九日内閣および各省委

員候補者の人選を了した。

内閣および各省政府委員候補者員數、

貴院 衆院 學識 計 あり。

内閣 一九 四二 一三 七四

六月十日

企業院 四 八 一 一二

東北局 一 六 二 九

興亞院 四 一〇 二 一六

情報局 四 一〇 四 一八

對滿事務局 三 四 二 九

技術院 三 四 三 一〇

外務省 四 一二 一 一七

内務省 五 一四 三 二二

大藏省 八 二五 七 四〇

司法部 六 一五 二 二五

文部省 五 一一 三 一九

農林省 六 三二 七 四五

商工省 六 三三 一 三九

逓信省 六 一九 五 三一

鐵道省 六 一二 二 二〇

拓務省 四 一五 四 二三

厚生省 四 一四 三 二一

(合計) 八〇 二四四 五〇 三七四

【備考】 學識經驗者中には他に未決定の

ものあり。

農業生産獎勵規則(農林省令第五〇號)

馬車振興補助規則(農林省令第五一號)

織維製品製造制限規則中改正(商工省令第四四號)

封印鉛販賣價格指定昭和十五年十二月告示第八三六號中改正(商工省告示第六七四號)

伸銅品販賣價格指定昭和十六年十月告示第一〇一九號中改正(商工省告示第六七六號)

織維製品製造制限検査標準昭和十四年九月告示第二二五號中改正(商工省告示第六七九號)

公布

大本營發表 東太平洋全海域に作戦中の帝國海軍部隊は六月四日アリニューシヤン列島の敵據點ダツチハーバー並に同列島一帯を急襲し四日、五日兩日に互り反復之を攻撃せり、一方同五日洋心の敵根據地ミッドウエに對し猛烈なる強襲を敢行すると共に、同方面に増援中の米國艦隊を捕捉猛攻を加へ敵海上及航空兵力並

に重要軍事施設に甚大なる損害を與へたり、更に同七日以後陸軍部隊と緊密なる協同の下にアリニューシヤン列島の諸要點を攻略し目下尙作戦續行中なり、現在迄に判明せる戦果左の如し。

一、ミッドウエー方面

(イ)米航空母艦エータープライズ型一隻

及ホーネット型一隻撃沈

(ロ)彼我上空ニ於テ墜破せる飛行機約百二十機

(ハ)重要軍事施設爆碎

二、ダツチハーバー方面

(イ)墜破せる飛行機十四機

(ロ)大型輸送船一隻撃沈

(ハ)重油槽二ヶ所、大格納庫一棟爆破

炎上

三、本作戦に於ける我が方損害

(イ)航空母艦一隻喪失、同一隻大破、巡洋艦一隻大破

(ロ)未歸還飛行機三十五機

イタリアは十日をもつて參戰第三年を

迎へたが、この日はまた海軍記念日に當るため海軍次官リカルジ提督は伊全海兵にメーセージを送り戦勝への決意を披瀝し、また海軍省および空軍省では参戦以來本年五月三十一日までの約二箇年の戦果を次のことと發表した。

一、地中海で撃沈せる軍艦および商船一〇九、損害を與へたるもの四三

一、大西洋において撃沈せるもの一〇五
損害を與へたるもの四

一、紅海で撃沈せるもの一二、損害を與へたるもの一

合計撃沈二二六、損害を與へたるもの四八、トン數合計一、一九二、二三八トン

◇空軍省發表

一、戦闘回数七〇、五〇四

一、投下爆彈三四四、六一四

一、延飛行時間二九八、五五七

一、撃墜せる敵機一、二八〇

一、地上にて破壊せる敵機七八四

一、爆撃または雷撃により撃沈せる敵艦

三四、同じく破壊せる敵艦一五一

一、撃沈または破壊せる敵船舶一五三

六月十一日

籌及東子販賣價格指定昭和十五年十一月

告示第七六〇號中改正(商工省告示第六

八一號)カタシ糸販賣價格指定昭和十七

年二月告示第一七八號中改正(商工省告示第六八二號)公布

昨十日左の諸氏に内務省委員被仰付

貴族院議員侯爵 久我 通顯

同 伯爵 橋本 實斐

同 子爵 安藤 信昭

同 男爵 松平外典麿

同 田口 彌一

衆議員議員 安藤 覺

同 今牧 嘉雄

同 勝田 永吉

同 川崎末五郎

同 窪井 義道

同 宗前 清

同 田中 貢

中井 一夫

同 西方 利馬

同 別所喜一郎

同 森田 正義

同 森部 隆輔

同 蠟山 政道

同 早川 三郎

同 相川 勝六

同 關口 泰

同 山崎 清純

熊本縣知事 雪澤千代治

同 橋本 清吉

任愛知縣知事

任岡山縣知事

任岡山縣知事

任熊本縣知事

任熊本縣知事

任愛知縣知事

任愛知縣知事

依願免本官

依願免本官

依願免本官

大政翼賛會に於ては機構刷新を行ひ組

織局長狹間茂氏及中央訓練所長八角三郎氏は辭任し左の諸氏の就任を見た。

總務局長 小平 權一

練成局長 石黒 英彦

實踐局長 相川 勝六

興亞局長 永井柳太郎

調査局長 鹿島守之助

六月十二日

劍道具等最高販賣價格指定昭和十七年二月告示第一六八號中改正（商工省告示第一六八三號）石油代用燃料使用裝置最高販賣價格指定昭和十七年五月告示第五八七號中改正（商工省告示第六八四號）エチレンジグリコール販賣價格指定昭和十五年十二月告示第八八一號中改正（商工省告示第六八五號）公布

戰爭經濟の動脈をなす交通ならびに電力の動員に關し企畫院では關係各廳と協議中のところ十七年度の交通動員實施計畫、同電力動員計畫について成案を得、十二日の閣議において鈴木企畫院總裁よ

り説明のうへ正式に決定し、情報局より總裁談を發表した、兩計畫の眼目は左の二點である。

【第一】 刻下の情勢に鑑み重點主義の徹底的強化を期したこと、そのため電力においては直接の充足、軍需産業ならびに輕金屬、造船、製鐵、石炭、重要金屬、硫安、工作機械などの主要生産産業に重點をおくとともに新に工揚別の電力配分をも實施し、交通においては石炭、鐵鋼、セメント、木材、肥料、米、麥類大豆、食鹽の十品目を重點物資とすることになつた。

【第二】 右にともなひ統制計畫の綜合的一貫化をはかつたこと、すなはち電力においては渾水期と豊水期における生産の調整、自家發電施設と業務施設との一元的運用、大東亞の民間事業の連繫、發送電會社と配電會社の有機的一體化に留意しまた交通においては船舶、鐵道、港灣荷役、小運送の提携協力、計畫配船の強

化國鐵を基幹とする陸運の綜合的計畫樹立が促されそれん、早急に實現される方針であるこれより從來他の國家計畫に比し計畫性の稀薄であつた電力、交通動員が今年度より飛躍的に増強されるものと當局では期待してゐる。

無敵帝國海軍は開戦以來太平洋、印度兩洋にわたつて雄渾なる作戰を實施し敵米英の海上、航空兵力に痛撃を與へつゝあるが、その出撃するや疾風のごとく、遠くマダガスカル島デユゴ・スワレズを奇襲しシドニーを強襲するかと見ればミッドウエー島に強襲を加へアリューシヤン列島を攻略するなど敵をして奔命に疲れしめその兵力をして分散の餘儀なきに至らしめてゐる、この間にあつて餘裕綽々太平洋の孤兒濠洲に對する攻撃をゆるめることなく濠洲の觸手ともいふべきポー・モレスビー（ニューギニア）に連爆を取行するとともに時々反撃し來る敵機を邀撃、これを擊墜五月十六日以降六月

十日までに敵機の撃墜六十八機、撃破四機に達した、この間我が方は十三機を喪つた、その戦果を列記すれば次の如くである。

(一)五月十六日 ニューギニア島ラエに來襲せる敵機二機撃墜

(二)同十八日 モレスビーを空襲敵戦闘機四機撃破、大型機四機撃破

(三)同二十日 モレスビーを襲ひP三九型戦闘機二機を撃墜

(四)同二十三日 ラエに來襲せる敵機一機を撃墜

(五)同二十四日 ブナカナウに來襲の敵B二六型爆撃機一機を撃墜

(六)同二十五日 ラエに來襲せる敵B二五型爆撃機六機を撃墜

(七)同二十六日 サラモア西北方の空中戦において敵機五機撃墜

(八)同二十七日 モレスビーを空襲し敵戦闘機スピットファイヤー四機、同P三九型六機を撃墜

(九)同二十八日 モレスビーを引續き空襲敵戦闘機スピットファイヤー一機、同P三九型十二機撃墜

(十)同日 ラエに來襲の敵B二六型爆撃機一機撃墜

(十一)同二十九日 モレスビーを空襲、敵P三九型戦闘機五機撃墜

(十二)六月一日 モレスビーを襲ひ、敵P三九型戦闘機十一機を撃墜

(十三)同二日 又モレスビーを襲ひ敵P三九型戦闘機三機を撃墜

(十四)同九日 ラエ、サラモアに敵襲あり敵B二六型爆撃機四機を撃墜

かくの如き我が方の間断なきモレスビー爆撃はとりもなほさず濠洲の頭上に痛撃を加ふるものといふべくシドニー強撃と相俟つて濠洲の不安を日に日に深刻ならしむるものである。

六月十三日

蔬菜種子販賣價格指定昭和十五年十月告示第四六〇號中改正(農林省告示第三九

七號)精製椰子油最高販賣價格指定(農林省告示第三九九號)調合食用油最高販賣價格指定昭和十六年十二月告示第八九四中改正(農林省告示第四〇〇號)公布

江西地區の我が戦果は我が作戦企圖の秘匿と巧妙極まる包圍作戰により、第九軍主力を殲滅稀に見る戦果をあげた。十二日までに判明せる戦果は

敵遺棄死體一萬一千四百三十、捕虜一千九百八十、山砲十二、迫撃砲三十六、重機八十一、輕機百五十九、小銃三千三百十八、擲彈筒ならびに擲彈銃二百七十、乗用車十二、貨車五十、抗戰敵數四萬一千(七十五師、新編十一師、暫編六師、百九十四師、九十八師)

六月十四日

浙贛戦線を猛進中のわが精銳部隊の一部は十四日正午上饒(廣信)東方約十八キロに進撃、今や錦江、蘭溪、衢州、玉山を失へる敵が最後の牙城と恃む第三戰

區總司令部所在地に饒の陥落は目障の間に迫りつゝある。

玉山を攻略後錦江沿ひに戦果擴大中の浙贛前線右側進撃部隊は十三日曉玉山西南方七キロの板橋鋪を攻略し同日夕刻同地南方六キロの樟樹底を占領、十四日拂曉引續き同地西南方六キロ浙贛線上の要衝沙溪街を占領した、また一部は玉山西方南方黃山山脈中の峻峰玉山東方地區において敵第四十一師の約一千を攻撃中である。

わが〇〇部隊精銳は去る六月一日より高樹勳麾下の敗敵を河南、江蘇省境に擊破したがその戦果左の通り

敵遺棄死體三千七、俘虜百五、鹵獲品小銃九百九十八、輕機十三、重機二、迫撃砲二、その他各種器材多數

十五日からベンコックで開催される印度獨立大會は内外各方面から異常な關心をもつて迎へられてゐるが、代表百數十名は既に悉く勢揃ひを終へ、印度人の印

度への歴史的な第一歩は、いま力強く踏み出されようとしてゐる。

六月十五日

塗裝遮光幕最高販賣價格指定昭和十七年三月告示第三三三號中改正(商工省告示第六九三號)公布

大本營發表(一)囊に發表せるミッドウェイ強襲における戦果中に米甲巡サンフランシスコ型一隻及米潜水艦一隻撃沈を追加す(二)右強襲において撃墜せる飛行機は約百五十機なること判明せり。

内務省發表地方長官等の交迭左の如し

廣島縣知事 吉永 時次

任警視總監

福井縣知事 三好 重夫

任内務省警保局長

内務書記官 古井 喜實

任内務省地方局長

兵庫縣知事 坂 千秋

任北海道廳長官

内務省地方局長 成田 一郎

任兵庫縣知事

神祇院教務局長 宮村才一郎

任廣島縣知事

岩手縣知事 山内 義文

任長崎縣知事

厚生省生活局長 川村 秀文

任千葉縣知事

内務書記官 永野 若松

任福井縣知事

北海道廳土木部長 鈴木 脩藏

任岩手縣知事

大阪府書記官 伊藤 久松

任大分縣知事

廣島縣書記官 石井 錦樹

任北海道廳土木部長

静岡縣書記官 中村 良三

任神奈川縣書記官(總務部長)

内務省監査官 中島 清二

任神祇院教務局長

内務書記官 今井 久

任内務事務官(保安課長、外事課長)

神奈川縣書記官 柴山 博
任内務省監査官

内務書記官文書外 入江誠一郎
任内務大臣秘書官官房人事課長
内務省地方 齋藤 昇
局行政課長

任大臣官房文書課長兼地方局行政課長
情報局第一、第二課長 久山 秀雄

任内務省警保局警務課長
兵庫縣書記官 西井 一學

任静岡縣書記官(總務部長兼學務部長)
大阪府書記官 多胡 實夫

兼補大阪府學務部長
兵庫縣書記官 松原 久人

兼補兵庫縣經濟部長
厚生省技師 勝俣 稔

任厚生省豫防局長
大分縣知事 瀧尾 弘吉

任厚生省生活局長
千葉縣知事 藤原 孝夫

任軍事保護院副總裁
内務省警保局長 今松 治郎

警視總監 留岡 幸男

北海道廳長官 戸塚九一郎

長崎縣知事 平 敏孝

厚生省豫防局長 高野 六郎

軍事保護院副總裁 三島 誠也

依願免本官(各通)

日本醫療團の首腦者左の如し

總裁 醫學博士 稻田 龍吉

副總裁 高杉新一郎

理事 平 敏孝

同 高野 六郎

同 工學博士 佐野 利器

同 川又 公平

同 遠藤 繁清

同 三宅 正一

全世界に向つて印度人の印度建設を宣

言せんとする印度獨立大會は十五日ベン

コックのシラバコーン劇場において花々

しくその第一日の幕を開けた、晴のこの

日を待ちわびた印度大衆は午前七時半頃

から早くも會場目指して續々詰めかけ文

字通り場外に溢れる盛況である、約二千

の印度人はあらゆる階級を網羅してゐた

色とりどりのターバンを頭に巻つけ、白

木綿のチャツダ(上衣)とドーティー(腰

巻)を無造作に身にまとつたもの、トル

コ帽に背廣姿のもの、近頃流行のガンジ

ー帽などその服装は千差萬別だがそれだ

けこの大會が宗派、階級を超越した全印

度人の總意によることを明確に物語つて

ゐる、この群衆の波の中を各地の代表が

これまた色とりどりの服装で會場に到着

する、日本在住印度人代表ビハリ・ポー

ス、A・M・サハイ、ビルマ代表エル・

ビー・ラシヤ、マレーのハビブル・ラー

マン、泰代表など多年印度の獨立運動に

挺身して來た苦難の道を歩んだこれら志

士達の顔も今日ばかりは晴やかに輝いて

ゐる、來賓席には我が坪上大使と顔を並

べてウエンドラー獨公使クローラ伊公使の

顔もみえる、會場のあちこちからは早く

も拍手が起る、かくて開會を前に印度獨

立の意欲は場の内外に滿ち溢れて熱鐵の如く燃えさかり、泰國の午前九時、開會が宣せられた。

六月十六日

艦隊令其ノ他ノ軍令中改正(軍令海第五號) 亞鉛鐵板最高販賣價格指定(商工省告示第六九五號) スケール最高販賣價格指定(商工省告示第六九六號) 和傘最高販賣價格指定昭和十七年五月告示第五六〇號(日傘販賣價格指定昭和十五年十二月告示第八二七號廢止) 中改正(商工省告示第六九七號) 固形化粧石鹼同形洗濯石鹼及固形工業石鹼販賣價格指定昭和十五年十月告示第六七一號中改正(商工省告示第六九八號) 公布

大本營發表 帝國海軍潜水艦の開戦以來五月十日までに撃沈せる敵船舶累計左の如し

- 一、太平洋、ハワイ方面十五隻、十萬一千七百ト
- 二、西南太平洋方面十五隻、九萬六千ト

- 三、印度洋方面三十五隻、二十四萬六千三百ト
- 合計六十五隻、四十四萬四千ト

大本營發表 比島方面帝國陸軍部隊のコレヒドール島およびマニラ灣口諸島要塞攻略作戦において收めたる戦果の主なるもの左の如し

- 一、俘虜一二、四九五(大部分は米國兵なり)

遺棄屍體

六四〇

- 二、鹵獲品(1)火炮二四六門(うち十四時砲を始め重砲八十三門を含む)(2)重輕機および自動銃六八五(3)小銃拳銃五、二二〇(4)自動車類二七〇(5)飛行機八(6)砲彈十萬三千發(7)機關銃彈八十九萬發(8)糧食少くも一萬人に對する二箇月分沿岸防備を主要任務としてゐる海防艦は、従來出雲、磐手、八雲等のごとく巡洋艦乃至は戦艦等の古くなつたものを使用してゐたが、沿岸防衛の重要性から今

後は他の艦艇同様最初から海防艦として設計された新らしい海防艦が建造されることとなつた、また數隻の海防艦を單位とする海防隊が編成され沿岸防備の重責に任じ鐵壁の防衛陣がはりめぐらされることとなりこれに伴ふ艦船令、艦隊令および關係軍令の改正が十六日公布された帝國海軍航空部隊は五月以來濠洲北部の要衝ポート・ダーウィン爆撃の戈を收めてゐたが敵新鋭増援機の到着するや機を失せず去る十三日爆撃、戦闘兩機隊連合の下に第十六次大爆撃を敢行、爆撃隊は東飛行場を猛襲し軍事施設、格納庫群を爆破炎上せしめ、戦闘機隊は挑戦し來つた敵P四〇と壯烈な空中戦の結果、十二機を撃墜した、翌十四日も再度強襲敵機八機を撃墜、港灣施設、各飛行場に巨彈の雨を降らせて徹底的に爆砕した。かくの如く海軍航空部隊は敵反撃の企圖を破摧し赫々たる戦果を擧げてゐること、特殊潜水艇のシドニー強襲、潜水艦

の同港およびニュー・カッスル襲撃と相呼應して濠洲をますます混乱に陥らしめてゐる、しかしてわが海軍航空部隊のポート・ダーウィン第一次空襲以來の戦果を挙げれば左の通りで、撃墜破合計百十一機に達してゐる。

◇二月十九日 撃墜十一機、撃破十七機

我方未歸還二機（二回爆撃）

◇三月四日 撃破一機

◇同十六日 格納庫、兵舎爆碎

◇同十九日 市街、倉庫群、高角砲陣地

爆撃

◇同二十二日 同上、我方未歸還一機

◇同二十八日 撃墜四機、撃破三機、我方未歸還一機

方未歸還一機

◇同三十日 撃墜九機

◇同三十一日 撃墜五機（二回爆撃）我方未歸還一機

方未歸還一機

◇四月二日 重要軍事施設爆撃

◇同四日 撃墜七機

◇同五日 飛行場その他爆撃

◇同二十五日 撃墜十四機、我方未歸還六機

◇同二十七日 撃墜二十機、我方未歸還一機

◇六月十三日 撃墜十二機

◇同十四日 撃墜八機、我方未歸還二機

合計撃墜破百十一機、我方の損害十四機

ステファニア通信社は十四日から開始されたイタリア空軍の英護送船團攻撃の詳

報を十五日次のごとく發表した。

◇イタリア空軍により攻撃された敵護送船團は大西洋からジブラルタルを通過

して地中海に入つて來たもので、マル

タ島あるひはアレキサンドリアに向ふ

目的をもつてシチリア水道の強行通過

を試みんとしたものであつて、右護送

艦隊は戦艦一隻、航空母艦二隻、巡洋

艦四隻、驅逐艦十二隻よりなるもので

十四隻の輸送船を護衛してゐた。

◇六月十四日未明イタリア空軍がこれに對し最初の攻撃を開始した時、これら護

送船團はサルジニア島のカポ・テウラの南西アルゼリアのフィリップウイ

ルとボーマの中間沖合の水域を航行中であつた、サルジニア島のイタリア空

軍基地からは雷撃機、爆撃機よりなる

第二の空軍編隊が同地點に到着、東方

に向けて航行中の護送船團を攻撃した

同日午後にはシチリア島基地からも爆

撃機、雷撃機が飛來した。

◇英側の損失は五千トンないし七千トン

級の巡洋艦二隻、驅逐艦一隻および輸

送船四隻が撃沈され、戦艦一隻、航空

母艦一隻、巡洋艦二隻、輸送船四隻は

大破され、英機十五は撃墜された、こ

の戦間に參加したイタリア軍飛行機は

合計三百機であるがその中二十機は未

歸還である。

六月十七日

産金奨励規則中改正（商工省令第四五號）

探鑛奨励金交付規則中改正（商工省令第

四六號）選鑛場設置奨励規則中改正（商

工省令第四七號) 鑛山機械化獎勵規則中
 改正(商工省令第四八號) 蔬菜及果實最
 高販賣價格指定昭和十六年七月告示第四
 四三號中改正(農林省告示第四〇七號)
 嗜好飲料及滋養飲料販賣價格指定昭和十
 六年十一月告示第八六八號中改正(農林
 省告示第四〇八號) 清涼飲料販賣價格指
 定昭和十六年十一月告示第八七〇號中改
 正(農林省告示第四〇九號) サツシユバ
 I 最高販賣價格指定(商工省告示第六九
 九號) 熔接棒最高販賣價格並ニ最高加工
 價指定昭和十七年六月告示第六四〇號中
 改正(商工省告示第七〇〇號) 網縫糸絹
 紡縫糸及其ノ原料糸最高販賣價格指定昭
 和十七年五月告示第六〇四號中改正(商
 工省告示第七〇一號) 廣幅絹織物最高販
 賣價格指定昭和十七年五月告示第五二一
 號中改正(商工省告示第七〇二號) 小幅
 交織絹織物最高販賣價格指定昭和十六年
 十一月告示第一〇三號中改正(商工省告
 示第七〇三號) 綿縫糸其ノ他綿然糸販賣

價格指定昭和十七年二月告示第一九六號
 中改正(商工省告示第七〇四號) 公布
 情報局發表 泰國の金融上および經濟上
 の地位を強化するため本邦より二億圓の
 借款を供與する交渉は、先般來大藏當局
 と泰國ワニット經濟使節との間に進行中
 であつたが、本日日本銀行および泰國大
 藏省間に契約の調印を見るに至つた。
 ワルダにおけるネール、アザッドとの
 協議以來、反英運動を一層熾烈に展開し
 てゐるガンジーは國民會議派機關紙ハリ
 ジャンに一文を寄せ英國人が全部印度よ
 り撤退することを條件に彼が回教徒聯盟
 と協力し、かつ會議派、回教徒聯盟およ
 び印度王侯國代表者によつて構成するべき
 印度國民獨立政府の指導者たる用意ある
 旨發表した、一方U P通信ボンベイ電に
 よるとガンジーは英國官吏、工業家その
 他の印度撤退と同時に印度にある全英軍
 を即時解體し印度より去らしむべきこ
 とを要求してゐる、なほ興味ある事實は

ガンジーが聯合國側の國家聯合の思想の
 痛烈かつ皮肉に次の如く攻撃してゐるこ
 とである、米英兩國は人間の權利に對し
 彼が從來行つて來た醜惡なる犯罪から綺
 麗に手を洗はない限り人間の自由につい
 て語ることは出来ない、印度政府は英人
 が一人残らず印度を去つた後はじめてか
 らる聯合國側の國家聯合と交渉し得るで
 あらう。
 十六日夜上海で聴取したロンドンBB
 C放送はマツクアアサー發表によるわが
 荒鷲のポート・ダーウイン猛爆を放送し
 日本航空部隊の大部隊は去る十四日以來
 三日間にわたりポート・ダーウインを連
 續爆撃したが、なかんづく十六日の爆撃
 は熾烈を極め港灣施設ならびに聯合軍空
 軍部隊に相當の損害があつたと聯合軍側
 の被害を認めてゐる、東アフリカ沿岸の
 諸軍港は帝國潜水艦の出没に戦々兢々と
 してゐるが、ポート・ダーバン發アヴア
 ス來電によれば、十六日もポート・ダー

バンならびにその北方のビーターマリツ
ツバグ兩港方面の沿岸一帯に空襲警報
が発令され警報は十一時に至りやうやく
解除された、濠洲からアフリカに跨り空
に海に帝國海軍縱横の至妙作戦展開に英
濠の恐怖狼狽ぶりが察せられるが遙か南
阿を迂回せんか、ポート・ダーバンから
モザンビツク海峡に通ずる東阿沿岸一帯
の水域また帝國海軍の制壓に歸せんとし
北阿戦線における英軍の不振、獨ソ戦で
はセバストポリ要塞の運命迫れると相俟
つて英國の中亞方面に對する最後の策謀
意圖は空しく水泡に歸せんとしてゐる。

六月十八日

食料品出荷施設補助規則（農林省令第五
二號）綿狀屑織維購入及販賣價格指定昭
和十六年五月告示第三八一號中改正（商
工省告示第七〇五號）公布
大本營發表 彙に發表せるダツチハーバ
ー急襲の詳報に依れば帝國海軍部隊は六
月四日、五日同方面特有の荒天を衝き攻

撃を敢行、敵機二十一機を撃墜破すると
共に敵重要軍事施設の大半を壊滅せるこ
と判明せり。

ドイツ軍司令部十八日發表

一、ドイツ潜水艦隊は大西洋水域で強力
な敵の護送商船團を捕捉これに雷撃を
加へ商船七隻合計三萬四千トンに撃沈
他の一隻を大破した。

一、さらにタリブ海においても敵の強力
な防衛を排除してアメリカ商船十二隻
合計七萬五千トンに撃沈した、かくて
敵はまたもや合計十九隻合計十萬九千
トンを喪失した。

米大統領秘書アリーは十八日英首相
チャーチルが同日ワシントンに到着した
旨發表した、訪米の目的については戦争
遂行に關する諸般の事項につき米大統領
および政府首脳部と協議するためと言明
しただけである。ルーズヴェルト、チャ
ーチル會談は昨年八月英戰艦プリンス・
オブ・ウェール號上に會し、いはゆる大

西洋憲章八項宣言を發し、次いで大東亞
戰爭勃發後チャーチルは昨年十二年廿二
日空路ワシントンに乗り込み、東亞にお
ける連敗の對策につき協議した外、重慶
政權その他を誘つて本年一月二日反樞軸
同盟條約に調印した。

六月十九日

産業設備營團損失審査令官制（勅令第五
八六號）蠶蛹配給統制規則（農林省令第
五三號）批屑麥等最高販賣價格指定（農
林省告示第四一二號）澱粉粕最高販賣價
格指定（農林省告示第四一三號）公布

六月二十日

農機具最高販賣價格指定昭和十七年五月
告示第四二三號中改正（農林省告示第四
二三號）特殊鋼最高販賣價格指定（商工
省告示第七〇九號）公布
大本營發表 帝國海軍航空部隊は六月十
三日以來四日間に互りポルト・ダーウイ
ンを空襲し敵機四十六機を撃墜すると共
に敵殘存軍事施設に大損害を與へたり、

本攻撃に於て我が方二機を失へり。

情報局發表 タイ國政府においては先般前總理大臣ビヤ・パボン中將を首班としタムロン司法大臣、ワニット無任所大臣等より成る使節團を帝國に派遣し日タイ同盟成立に對する慶祝の意を表したるところ、今般帝國政府においては右に對する答禮のため元總理大臣廣田弘毅を特派大使とし、特命全權大使矢田部保吉以下より成る使節團をタイ國へ派遣することとなれり、本特派大使の差遣が同盟の契を愈強固ならしめ永き傳統を有する日タイ友好關係の鞏化増進に寄與すること大なるべきことを期待するものなり。

日泰同盟慶賀答禮特派大使

廣田 弘毅

隨員

特命全權大使

矢田部 保吉

外務省南洋局長

水野 伊太郎

他十二名

去月末より中部魯東地區の共産八路軍に

對する肅清、討伐を敢行中のわが軍は奇襲につぐ奇襲戦をもつて山岳地帯に離散遁走中の敵を隨所に殲滅中である、十七日までに判明せる綜合戦果次の如し。

交戦回数三十六回、交戦共産匪一萬二千四百三十名、覆滅せる敵兵器工廠二、糧秣廠二、被服廠一、學校二、遺棄死體一千百〇六、捕虜三百六十三、主なる鹵獲品、迫撃砲三、輕迫撃砲三、チエツコ十六

左の諸氏に土木會議々員被仰付

衆議院議員 荒川 眞郷

同 綾部健太郎

同 大石 齊治

同 加藤 綱一

同 小林 絹治

同 近藤英次郎

同 田中 好

政府は十九日行政の簡素強力化實施要綱を閣議決定し、行政各廳の官吏定員を減員し、これに基いて至急高等官、判任官

雇傭員を通じその待遇改善に關し資格の向上および給與改善の方途を講ずることとなつたが、これに伴ひ官吏の給與と民間會社の給與とが不均衡となるため大藏省では何等かの措置を講じて兩者の均等化をはかるべく目下具體案を考究中である。

六月二十一日

南部太行の新戰場に意氣軒昂たる我が精銳諸部隊は、炎熱を冒して南へと取敵を急追しつゝあるが、蔣系二十四集團軍司令部の本據合澗鎮(林縣西南十六キロ)を占據し尙十九日午前十時合澗鎮東北高地より頑強に抵抗する約五百の敵主力を擊破、同日午後三時同高地を占據した。

一方孫殿英麾下の百六師(師長張震英)の千五百が最後の防衛線として有力なる陣地を構築してゐた即界村(林縣西南二十キロ)へと十九日早曉から猛攻を開始した安尾部隊は突入戦を敢行、同日午後に至り同地區を完全に占據、

附近一帯の掃蕩を續行、また吉田章、青柳兩部隊は隨所に追撃戦を展開しつゝ、石家庄（林縣西南十九キロ）まで進出、敗敵の包圍體形を完了、猛攻の火蓋を切つた。

合潤鎮、即界村地區における各部隊の戦果左の通り

敵遺棄死體一、〇〇〇、捕虜五六、鹵獲品〓重機一三、輕機一五、迫撃砲三
自動小銃三三、小銃一、〇〇〇、地雷三〇その他多數

昨年六月二十二日獨ソ開戦して以來滿一周年を迎へ、獨軍は今やセバストポリへ殺到しつゝあり、北阿においても獨伊軍は猛烈進撃の歩を速め、カイロ發ロイター電によれば、既に十九日ドイツ戰車部隊は二方面からエジプト國境バルジヤへ四十キロの地點に到達した。

獨軍司令部二十一日特別發表「ロメル將軍麾下の獨伊軍は二十日トブルク要塞に對して猛攻を加へ、その大部分を占據

二十一日早朝英軍使は伊軍參謀部に同要塞の完全降伏を申出た、よつて獨伊軍は直ちに同市ならびに港灣を占領し、將官數名を含む二萬五千の英軍を捕虜とした獨伊軍の鹵獲した武器彈藥は莫大な數に達してゐる、獨伊軍は東方に遁走する英軍を急追し、バルジヤならびにビル・エ

六月二十二日

液體調味料最高販賣價格指定昭和十六年十二月告示第九一九號中改正（農林省告示第四三〇號）木材販賣價格指定昭和十五年十二月告示第六七一號中改正（農林省告示第四三一號）引拔鋼材最高販賣價格及最高加工賃指定昭和十七年一月告示第五三號中改正（商工省告示第七一〇號）鯨草截斷製品具最高販賣價格指定（商工省告示第七一一號）皮革販賣價格指定昭和十三年七月告示第二〇七號中改正（商工省告示第七一二號）公布
カナダ國防相ラルストンは「二十日午

後十時三十五分（日本時間二十一日午後三時三十五分）バンクーバー島が日本潜水艦の襲撃をうけ重要軍事施設が砲撃された」と同夜深更重大ニュースを發表し、まどかな夢を結んでゐた全カナダ國民に大衝撃を與へた。

カナダ國防省の發表によれば、日本潜水艦は二十日午後十時三十五分（地方時間）バンクーバー島上の重要軍事施設を砲撃した。

ロイター電によれば伊當局は二十二日特別發表を以て伊潜水艦が南大西洋においてメリーランド型米主力艦一隻を撃沈せる旨次の如く公表した「伊潜水艦バルリゴ艦（九四〇トン）はブラジルルナン沖フェド・デ・ノロニア島附近で二十一日午後二時五十分同方面を南下中の米艦隊を攻撃しメリーランド型主力艦（三一五〇トス）に魚雷を發射、そのうち二發を同艦の艦首に命中せしめ同艦は間もなく沈没した。なほバルリゴ艦は一九

三八年六月竣工の新鋭艦で九四一トン級型でありながら二十一吋魚雷發射管を八門も裝備し快速を持つたものである。

獨軍當局は樞軸軍は北部要塞一箇所を除くほかセバストポリの全要塞を占領した旨二十二日發表した。

六月二十三日

食糧管理法施行令(勅令第五九二號)船員法施行令中改正(勅令第五九四號)公布

六月二十四日

臨時租稅措置法施行規則中改正(大藏省令第四五號)陸軍身體檢査規則中改正

(陸軍省令第三八號)農地調整施設補助規則(農林省令第五四號)内地産芥子種最高販賣價格指定(農林省告示第四三四號)

蔬菜及果實最高販賣價格指定昭和十六年七月告示第四三五號中改正(農林省告示第四三五號)生花切花及植物類最高販賣價格指定昭和十六年十月告示第七四七號

中改正(農林省告示第四三六號)臨時計(輸入品ヲ除ク)及懷中時計(輸入品ヲ除

ク)販賣價格指定昭和十五年十一月告示第六九七號中改正(商工省告示第七一四號)人造絹織物販賣價格指定昭和十六年二月告示第一四四號中改正(商工省告示第七一五號)坑内用蓄電池安全燈及同部品ノ最高販賣價格指定(商工省告示第七一六號)公布

來る八日の大詔奉戴日は恰も支那事變五周年記念日の翌日に當るので、この日「承詔必謹」の精神に徹せしめるとともに、五箇年におよぶ支那事變を回顧し、さらに大東亞長期總力戰を戦ひ抜くため二百三十億貯蓄に對し總進軍を誓ふことになつた、すなはち「七月の實踐事項」は「二百三十億貯蓄の一本槍で、八日の大詔奉戴日には全國一齊に地域、職域の常會を開き、大東亞戰爭完遂のため一億國民貯蓄應召の感激をもつて左の『貯蓄御奉公の誓』をたて、同時に『附記貯蓄増加申合事項』のうちから適當なものを實踐する。

貯蓄御奉公の誓
○大御心に應へ奉り大東亞戰爭を勝ち抜くため、みんなそろつて貯蓄御奉公に勵みます。
○前線の將兵に恥ぢぬやう一人残らず働いて、みんなそろつて貯蓄御奉公に進みます。
○お互に一層工夫を凝らし簡素のうちにも明るい生活を打ち樹て、みんなそろつて貯蓄御奉公に努めます。
【附記申合事項】
一、金屬獻納による収入金の共同貯蓄
二、賞與および季節収入(配當、利子、麥類、繭)等の貯蓄
三、中元贈答廢止による貯蓄増加
四、不要不急旅行自制による貯蓄増加
五、未設置貯蓄組合の結成と各種貯蓄組合員の貯蓄額適正増加
六、國債買入増加
七、その他新たななる工夫による貯蓄増加

六月二十五日

佃煮、鯛味噌及煮豆類最高販賣價格指定
昭和十六年十二月告示第九一八號中改正
(農林省告示第四三八號)冷凍卵生卵白及
マヨネーズ、ソース販賣價格指定昭和十
五年十月商工農林省告示第一八號中、ソ
ース販賣價格指定昭和十五年十二月商工
省告示第八九五號中、トマトケチャツプ
類販賣價格指定昭和十六年四月告示第二
三一號中改正(農林省告示第四三九號)公
布

大本營發表 アリニュージャン列島方面に
作戦中の帝國陸海軍部隊は六月七日キス
カ島を、同八日アツツ島を奇襲占領し爾
後引續き附近の諸島を掃蕩中なり。

日米第一次の交換船で歸國する大公使名
在米の野村吉三郎大使、來栖三郎大使、
若杉要公使、在ブラジルの石射猪太郎大
使、在メキシコの三浦義秋公使、在パナ
マの秋山理敏公使、在ベルーの坂本龍起
公使、在コロンビアの柳井恒夫公使等、
在カナダの吉澤清次郎公使等。

戦火の眞只中に行はれる外交官など敵性
國人交換第一船淺間丸は二十五日午前一
時三十五分米國および中南米の外交斷絶
國の敵性國人米國大使グルー大使夫妻外
〇〇名を乗せて出帆、東アフリカのロン
ンスマルクス港へ向つて一路急行した。
二十四日ボンベイよりの英情報によ
れば、印度洋においてさらに英船三隻が
撃沈された。

トブルク占領後樞軸軍の鋭鋒が何處ま
で英軍を急迫するかは世界の關心を集め
てゐたが果然ロメル將軍麾下の樞軸軍は
早くも埃及國境を越えて進撃し先鋒は廿
四日夜要衝ソルムを占領した。

伊軍司令官二十五日發表 北阿戦線の
樞軸軍はリビア、エジプト國境において
抵抗中の英第八軍團殘存隊を完全に撃破
しカプツツオ、ソルムおよびサルファヤ
を攻略後、引續き南方に敗走する敵を急
迫して遂に二十五日要衝シジバラニを占
領した、なほ同地南部地區一帯も同時に

樞軸軍の手中に歸した。

ガンジーは印度總督リンリスゴに書
翰を送り彼の要求に同意せんことを求め
もし一週間以内に満足すべき回答がない
ときはいよいよ新運動を實行に移す豫定
であるといはれてゐる、かつて一九三〇、
年當時ガンジーは時の總督アーウィン卿
に最後通牒を送り、然る後あの歴史的な
街道進軍を行つたが、今回もガンジー自
ら同様に街頭に立ち新運動を指揮するも
のとニューデリーでは一般に信じられて
ゐる。

六月二十六日

普通陸型フライス盤(輸入品ヲ除ク)販賣
價格指定昭和十六年二月告示第一一三號
中改正(商工省告示第七一九號)カレン
ダー販賣價格指定昭和十五年十月告示第
六七二號中改正(商工省告示第七二〇號)
公布

酷熱の南部太行山脈について蔣直系軍
劉進庭下の第二十七軍二萬を殲滅せんと

する南部太行山脈作戦は順調に進展し、東進部隊の先遣隊は二十五日午後二時陵川を占據した、同日までの綜合戦果は次の通り△敵遺棄死體三百二十二、捕虜二百五十、鹵獲品重機七、同彈藥二萬五千迫撃砲三、輕機四、小銃九十、無電機二手榴彈八十、その他多數。

陵川東方の據點から軍長劉進麾下の主力を潰走しつゝある我軍が二十七日朝までの戦果次のごとし。

敵遺棄死體一、四二一、捕虜一、一九六、迫撃砲九、重機二六、輕機二七、小銃四七二

ロメル元帥麾下の樞軸快速進撃部隊は既にマルサ・マトルー附近に達し、同方面の英軍に對する包圍作戦を展開しつゝあり、當地では樞軸軍の快速進撃は、ブルクの失陥によつて致命的打撃を受けた英第八軍が戦闘力を消耗し盡した證左であるとしてゐる。

マルサ・マトルーはナイル河とリビ

ア、エジプト國境線との中間に位し、アレキサンドリアの西方三百二十キロ海岸線に沿ふ鐵道の終點で同方面最強の要塞であり、英國側はこの地に據つてロメル軍の進撃を阻止せんものとの一縷の希望を囑してゐたところである。

しかしロメル軍はトブルク攻略以來、潰走する英軍に對し部隊再編成の邊を與へず猛進撃を續けてゐるため、遁走する英軍は四分五裂の状態にあり、カイロ發U P 電も極めて悲觀的であり、英軍がマルサ・マトルーを確保し得るとはみてゐない。

朝野を擧げての彈効の嵐の只中にロイヤル・エアメールの大型飛行艇で急遽ロンドンに歸還したチャーチルは直ちに戦時内閣關係を招集して議會對策に關し鳩首協議した。

獨軍司令部は六月二十五日午後三時より二十六日午後三時までの十四時間に獨海軍が大西洋ならびに北氷洋において聯

合國軍艦および商船十五隻を擊沈した旨二十六日發表した。

獨軍司令部二十七日發表、

△東部戦線 セバストポリ地區において獨羅聯合軍は赤軍と壯烈な白兵戦を展開し敵陣地並にトーチカを占領した、獨空軍は、セバストポリの沖合において敵驅逐艦および潜水艦それぞれ一隻を擊沈した。

ソ聯軍はケルチ半島の突端に上陸作戦を企圖したが擊退したまた赤軍は東部戦線南部地區において強力な迫撃砲の援護射撃のもとに出撃を試みたが、スロバキヤ軍はこれを擊退した。

冬季戦において後方との連絡を斷たれた中部地區の赤軍に對する作戦は終了した。

右戦團において赤軍は死者四千名、俘虜九千名を出したのに對し獨軍の損害は戦車十六、大砲二百二十門、機銃七百八十三を鹵獲または破壊されたに過ぎなかつ

た。

△北阿戦線 獨伊聯合軍はさらに英軍を東方に撃退、マルサ・マトールーの西部地區および西南部地區に到達した。

獨伊聯合空軍部隊は英空軍と壯烈な空中戦を行ひ英機四十三機を撃墜した。

△英本土攻撃 獨空軍部隊は二十六日夜イングランド東南部ノリツヂを空襲、焼夷弾および爆弾の雨を浴せた。

六月二十七日

食糧管理法施行規則（農林司法省令第二號）飼料販賣價格指定（農林省告示第四五〇號）配合飼料販賣價格指定昭和十六年六月告示第三九五號中改正（農林省告示第四五二號）醫藥品最高販賣價格指定昭和十七年四月告示第六號中改正（商工厚生省告示第一四號）公布
大東亞戰爭下日本經濟の動向を規定する十七年度の諸國家計畫は二十六日公表され生活必需物資綜合計畫を最後として、物資動員計畫、生産擴充計畫、資金統制

計畫、貿易計畫、國民動員計畫、電力動

員計畫、交通動員實施計畫の八種全部出揃ひ、戦局進展に呼應する經濟必動態勢はこゝに全く整備されるに至つた、これらの國家計畫は戰爭經濟の骨格をなすものであり、その成否如何に多大の關心が寄せられ、官民の協力が切に要請されてゐるが、本年度國家計畫の特色は左の通りである。

第一 國家計畫の體系的整備が行はれ計畫經濟の高度化が具現されたこと、即ち物動計畫を補完するため新たに生活必需資源綜合計畫が樹立され、在來の勞務動員計畫は國民動員計畫としてその範圍を擴大し、交通計畫は物動、生擴に即應して徹底的に刷新された。なほ大東亞貿易計畫の設定も研究されてゐる。

第二 戦局の現段階を考慮して現實的性が濃厚であること
即ち生擴計畫においては現有設備の能

力發揮が主眼であり、實計畫易において滿支重點主義をとつて現實の成果を確保せんとし、物動、電力、交通諸計畫において徹底的な重點主義をとらんとしてゐることも現實主義の現れである。

第三 南方地域をも計畫の對象にとり入れ、日本の國家計畫から大東亞の國際計畫の色彩が濃厚となつて來たこと
廣域經濟においては全地域の計畫經濟が行はれなければならないが、物動、貿易、資金、勞務等において漸次共榮圈全般に及ぼんとする動きが見られる
企畫院總裁談 戦時國民生活の安定を圖り國民活動力の強化を期するため日常生活に直接不離の關聯に在る重要生活必需物資につきこれが周到なる需給の計畫化とその圓滑なる實行を圖るを緊要と認め政府においては從來これが遂行をなしたがつたが今回本年度生活必需物資の綜合計畫を策定し本日閣議でこれが決定をなす

に至つた。

本年度における生活必需物資動員計畫は米穀、麥類、諸類、野菜魚介類、肉類、食用油脂、食料鹽、味噌、醬油、牛乳等の食料品、木炭等家庭燃料及び衣料等重要生活必需物資につき立案し左の諸點に付特別の考慮を加へたのである。

一、物資動員計畫に照應せしめたこと
二、米穀等重要食糧につき詳細の計畫を
設定し之が確保を期したこと

蔬菜、魚介類、牛乳等につきては生産、集荷、配給の實態に即し主要消費地に對する需給を考慮し計畫をなしたること

而して本計畫を實施する上においてこれが萬全を期するため所要資材の確保を圖るは勿論、集荷配給につきその公正的確を期し又品質規格等の適正を圖る等各般の施設工夫が必要なることは當然のことであり、政府としては銳意努力致し度き考へである。

特に國民生活必需物資の供給確保につい

ては陸海軍の多大なる協力を得て來て居る次第であつて、本計畫の樹立および實施によつて生活必需物資の需給に綜合的なる目標が定まり戰時國民生活の安定を確保する上において極めて大なる効果を期し得ると存するのである、併しながら

いふ迄もなく現在は大東亞戰爭の最中であり、この大戰爭を勝ち抜くためには國民としてまず一質實剛健にして清新簡素なる戰時生活を營むべきであつて、この點に關し國民各位は大東亞戰爭の完遂と大東亞の建設といふ大業を翼賛し奉る國民的感激を以て自主的に物心兩面に互りその生活の戰時體制化を圖られ本計畫の目的達成に協力せられんことを望んで已まない次第である。

六月二十八日

中支軍發表 我軍は去る二十五日夜半新銳諸部隊を以て潰滅に瀕せる浙東方面第三戰區救援のため新たに長沙方面より撫州南方地區に進出せる敵第四軍に對し突

如攻撃を開始し、昨二十七日拂曉來、豪雨、濁流を征服しつゝこれを宜貴水右岸に包圍殲滅中なり。

獨軍司令部は二十八日夕刻東部戰線ウオルホフ地區の戰果につき左の如き特別發表を行つた。

本年二月ソ聯軍第二師及び第五十二、第五十九師の一部はイルメン湖北方において凍結せるウオルホフ河を渡河、獨軍の攻撃線に深く楔をうち込むのに成功、爾來これに對しリンデマン將軍麾下の獨軍並に獨親衛隊、スペイン、オランダ、フランドル等の義勇軍部隊はケラー大將の指揮する獨空軍の有効なる援護の下に天候と土地の惡條件下に激戦を續けること數箇月、遂に敵の後方連絡線を遮斷しソ聯軍部隊を孤立せしめ徐々に包圍鐵環を壓縮、廿八日これを殲滅するに至つた、現在までに入手せる報告によれば、この作戰において獨軍は砲六百四十九門、戰車百七

十一臺、機關銃二千九百四挺、迫撃砲自動拳銃その他武器、軍需資材多數函獲、捕虜三萬二千七百五十九名を得た

六月二十九日

昭和十六年十二月内務省令第四十號言論出版集會結社等臨時取締法施行規則中改正(内務省令第二八號)苧麻、大麻等統制規則第四條ノ規定ニ依ル日本原麻株式會社ノ内地產賣麻苧ニマオラン最高購入及販賣價格指定昭和十五年十月告示第四六五號中改正(農林省告示第四五三號)肩掛及首巻販賣價格指定昭和十六年三月告示第二五五號中改正(商工省告示第七二八號)雜木算筍最高販賣價格指定昭和十七年五月告示第五五八號中改正(商工省告示第七二九號)醫藥品最高販賣價格指定昭和十六年八月告示第九號中改正(商工厚生省告示第一五號)公布

昭和十七年度預金部資金の運用計畫に
ついては、本年三月三十日の運用委員會
において取敢ず國債の消化資金二十五億

時局日誌

圓その他生産力擴充資金等を合せ總額二十六億七千七百萬圓の資金を決定したのであるが、大藏省では現下の時局に鑑み國債の消化資金をさらに五億圓追加するのほか地方資金生産力擴充資金の融通を決定するため二十九日本年度最初の預金部資金運用委員會(第八十二回會議)を開催、別表の通り九億三千二百九十二萬圓の資金融通の件等を決定した、なほ今回の決定により、昭和十七年度運用決定済資金は、前回委員會において決定せられたる資金と併せ合計三十六億九百九十二萬圓となる(單位千圓)

六、中小商工業振興資金追加 一〇、〇〇〇

七、外地普通地方資金 六、五〇〇

朝鮮 二、五〇〇

臺灣 七〇〇

南洋 九、七〇〇

小計 五、〇〇〇

八、朝鮮治水專業資金 六、二二〇

九、朝鮮增米資金 三〇、〇〇〇

一〇、外地勞務者住宅建設資金追加 一〇、〇〇〇

一一、樺太食糧營團の食糧貯藏資金 五、〇〇〇

一二、在滿學校建設資金 二一〇、〇〇〇

一三、政府保證債券または特殊法人の發行する債券の引受または買入資金追加 一五、〇〇〇

一四、滿洲國國債買入資金追加 一五、〇〇〇

一五、滿洲國政府保證滿洲興業債券買入資金 二一〇、〇〇〇

合計 九三二、九二〇

六月三十日

船員保險法施行令中改正（勅令第六〇四號）
 産業設備營國法施行令中改正（勅令第六〇六號）
 蔬菜及果實最高販賣價格指定昭和十六年七月告示第四四三號中改正
 （農林省告示第四五六號）
 化粧品販賣價格指定昭和十五年八月告示第四四二號中改正
 （商工省告示第七三〇號）
 鐵道車輛最高販賣價格指定昭和十六年十一月告示第一〇八五號中改正
 （商工省告示第七三一號）
 硝子製洋燈用火器油壺及陣笠最高販賣價格指定（商工省告示第七三二號）
 亞麻混紡ステープルファイバー糸及同使用織物最高販賣價格指定（商工省告示第七三三號）
 ガムテープ最高販賣價格指定（商工省告示第七三四號）
 公布
 外務省發表 遣泰特派大使廣田弘毅一行は本三十日午前九時東京驛を出發せり、日泰攻守同盟慶祝答禮のため今般泰國へ特派されることとなつた廣田特派大使

矢田部全權大使は水野首席隨員以下隨員を伴ひ、三十日午前九時東京驛發つばめにて出發した、驛頭には東條首相、東郷外相、嶋田海相、鈴木企畫院總裁、小泉厚相、寺島遞相、杉山參謀總長、谷情報局總裁、テイレルック泰國大使等多數の見送りがあつた。

濠洲防衛のため、敵はニューギニヤ、モレスビーおよびポート、ダウンを第一線と特み既に潰滅に瀕する兩基地の確保に血眼となつてゐるが、わが海軍航空部隊は瞬時その攻撃の手をゆるめず猛攻を繰り返し、六月十一日より三十日までの間における五回のモレスビー襲撃により敵機三十五機を撃墜、二機を撃破し八千トン級商船一隻撃沈、一隻大火災の赫々たる戦果を収めた、この間ラエに來襲した敵戦闘機一機は荒鷲の餌食となり敵がいかに空軍増援に狂奔するとも、わが海軍の前には殲滅の運命にあることを如實に示してゐる、この間我が方も未歸

還機四機を出した、モレスビーにおける戦果を列記すれば次の通りである。

六月十六日 P—三九を十九機撃墜、同日ラエ上空において戦闘機一機撃墜
 十七日 P—三九を一機、P—四〇を一機撃墜、八千トン級商船一隻撃沈
 十八日 P—三九を三機撃墜、八千トン級商船一隻大火災

二十五日 P—三九を十二機撃墜、二機撃破

かくて三月一日の第一回空襲以來モレスビーに加へられた攻撃は六十八回におよび敵機の撃墜二百五機、撃破八十二機に達した。

獨軍司令部三十日特別發表「大西洋に活躍中の獨潜水艦は二十九日、三十日の兩日メキシコ灣並にカリブ海において聯合國商船十四隻合計九萬八千トンを撃沈他の二隻に重大損傷を與へた。

なほ右商船の一部は飛行機、軍需資材を積載アフリカに向け航行中のもので

あつた。

獨軍司令部三十日發表によれば、獨羅軍はセヴエルナヤ灣を渡つて東方よりセバストポリ内部要塞地帯深く突入した。

ロメル元帥麾下の樞軸軍は既にフガの東方に進出し同地においてオーヒンレッツク下の英軍と激戦中と傳へられるが、英第八軍司令部でロメル軍は數的にも優勢であり、裝備も優秀なので事態は英國に取り極めて重大であると發表してゐる。

七月一日

増産金買上規則中改正（大藏省令第五二號）地方官々制ノ規定ニ依ル府縣地方事務所ノ名稱位置及管轄區域ヲ定ムルノ件（内務省告示第四九〇號）食糧管理法施行令第二三條第一項ノ規定ニ依リ米麥ノ買入價格決定（農林省告示第四六一號）特殊建具最高販賣價格指定昭和十七年六月告示第六四三號中改正（商工省告示第七三六號）無水鹽化アルミニウム販賣價格指定昭和十六年五月告示第三八八號中改

正（商工省告示第七三七號）更生糸交織ステープルファイバー織物最高販賣價格指定昭和十六年八月告示第七一四號中改正（商工省告示第七三八號）公布

情報局發表 大東亞建設審議會第四回總會は七月一日午後一時半より内閣總理大臣官邸において、東條總裁以下各國務大臣ならびに各委員出席のもとに開催せられ、さきに決定を見たる大東亞經濟建設基本方策に基く大東亞の農業、林業、水産業および畜産業ならびに大東亞の交通に關する具體的方策の答申案を審議、異議なくこれを決定し、午後四時十分散會した。

現地軍發表 今次新政勢開始以來月餘にわたり豪雨氾濫を排し饑渴に耐へ猛暑をもとめせず江西浙江兩省の山野に逐次第三、第九戰區軍を撃滅し進撃こゝに百數十里浙贛線開通を企圖せる兩部隊は七月一日午前十時半横峰城頭に感激の握手を交はした莞爾として微笑せる兩軍はこ

の歴史的任務達成に意義深き祝杯を擧ぐ懸軍幾百里、衆敵まつたく潰え、期せずして起つた萬歳の聲は浙江、江西の全戦線はもとより支那全土に響きわたり、重慶の空をも震駭せしめつゝあり。

わが海軍部隊は六月十三日および十四日の兩日にわたり、印度政府に直屬するニコバル群島の奇襲占領に成功した。

去る六月七日獨羅軍がセバストポリに攻勢を開始して以來連日赤軍との間に激戦が展開されてゐたがマンシュタイン將軍麾下の獨羅軍は困難なる地形を冒して一壘また一壘と抜き、遂に攻勢開始以來二旬餘にして、本一日遂にこれを陥落せしむるにいたつた、目下セバストポリ市街港灣及び要塞上には獨羅兩軍の旗が翻つてゐる。

獨總統大本營は一日「獨軍及びその聯合軍は東部戦線の南部及び中央地區において攻撃を開始した、北部戦線ウォルホフ河西方區域の包圍戦も成功裡に繼續さ

れた」と發表した。

マルサ・マトルーを抜いて東方に轟進するロメル樞軸軍の海岸進撃部隊は早くもエル・アラメインを占領、アレキサンドリアを目指して破竹の進撃をつづけてゐるが、英軍最後の防衛線たるアラブ灣附近においては最早英軍の強力なる抵抗は豫想されず、一気にアレキサンドリア前面に躍り込む態勢を示してゐる、また南方進撃部隊の先鋒戦車隊はシジ・バラニより三百六十キロのシワ緑地を越え隊商路を轟進中とみられる。

七月二日

地方長官の交迭

厚生省衛生局薬務課長 宮田 爲益
任山梨縣書記官(三等) 補總務部長兼經濟部長
任鹿兒島縣書記官(四等) 補警察部長

警保局警務官 上村健太郎
山梨縣經濟部長 西岡 太郎
鹿兒島縣警察部長 猪俣敬次郎

依願免本官(各通)

七月三日

包装木箱用仕組板販賣價格指定昭和十六年十二月告示第八七六號中改正(農林省告示第四六三號) 普通壓延鋼材及其ノ半製品最高販賣價格指定昭和十六年七月告示第五八一號中改正(商工省告示第七四四號) 熔接棒最高販賣價格並最高加工費指定昭和十七年六月告示第六四〇號中改正(商工省告示第七四五號) 公布

支那事變は第五年において遂に大東亞戦へと必然的發展を遂げた、事變は世界戦争の一環として世界的規模においていなければ解決しない性格を包んでゐるのだが、この意味から事變處理はいよいよ本格的段階に達したといふことが出来るよう、大東亞戦の勃發以來皇軍は廣袤實に二百五十二萬餘平方キロの廣大な戦域において縦横に大作戦を敢行したが、その間にも支那戦線においては一兵たりとも減退せしめることなく重慶撃砕に全力

を傾注してゐたのである、かくて事變第五年においては米英の重慶援助切斷に成功する一方支那戦線においては、新四軍掃蕩戦を初めとして前後二十三回に亘る大作戦によつて抗日重慶軍に對して一大鐵槌を加ふるとともに、わがビルマ作戦部隊は雲南省深く進撃してビルマ・ルートを完全に封鎖したのみならず直接昆明を脅かすに至つた、さらに浙江、江西兩省方面並びに廣東方面においても雄大な作戦を展開、重慶陣營を孤立無援状態に追ひ込んだ、一面作戦のかたはら昨年七月一日中支江蘇省南部においては國府政治力の滲透を目指して清郷工作が力強く發足、この建設工作は既に第三期を完了して今や第四期に入らんとしてゐるがその成果は目ざましく、共榮圏の一環としての新中國の將來を暗示するに足るものがある、米英の援助を切斷された重慶は戦力著るしく低下して今や僅かに微力な抗戦を續けるに過ぎないが未だその抗

戰意識を喪失せしむるまでには至らない
しかしながら皇軍は南方における作戰の
大成功によつて共榮圈全域に互つて必勝
不敗の態勢を確立し、内に限りなき戦力
を培養し重慶撃滅の第六年に入るのであ
る、過去一箇年間に於ける支那方面主要
作戰の概要は次の通りである。

(一) 清郷工作

(中支江蘇省南部) 自十六年七月一日、
至十七年六月)

揚子江下流三角地帯における治安の確
立および國府政治力の滲透を旨して昨
年七月より開始されし本工作は長期に互
る日華兩軍不斷の努力により大なる成果
を收めたり。

第一期 常熟、蘇州太倉地區

自七月一日、至九月中旬

第二期 江陰、無錫、蘇州、常熟地區

自九月下旬、至一月下旬

第三期 常州および無錫、蘇州、崑山、

太倉南方地區自二月中旬、至六月

本年四月末までに判明せる戦果は敵屍
六百四十、捕虜歸順等六千八百、火炮
五、重輕機三十三、銃器類二千七百八
十

(二) 新四軍掃蕩作戰

(中支江蘇省北部) 自七月二十日、至八
月中旬)

鹽城、阜寧地區に蟠踞する陳毅麾不の
新四軍を掃蕩しその地盤を覆滅せり。

遺屍一千七百、捕虜二百、投降八百、

鹵獲銃器七百

(三) 晋察冀邊區肅清作戰

(北支、河北、山西省) 自八月十四日、
至十月上旬)

共產軍覆滅の目的を以て八月十四日行
動開始、先づ冀中南部及び密雲地區の掃
蕩を行ひ、更に二十二日より京漢線以西

聶榮臻麾下四萬に打撃を與へ、かつ太行

山脈一帶の赤色根據地を覆滅す。

交戦敵兵力五萬、遺屍六千、捕虜三千

五百、鹵獲火炮五、重輕機五十、小銃

二千百

(四) 第一次長沙作戰

(中支湖南省東部) 自九月十八日至十月
上旬)

我が軍は三百キロに互る堅固なる敵縱
深陣地を旬日にして突破、第九戰區薛岳
麾下の中央軍二十餘萬を撃碎しその戦力
および抗戰組織に大打撃を與へたり。

遺屍八萬、捕虜八千三百、鹵獲火炮百

五、重輕機一千五十、小銃一萬三千七

百

(五) 北江および新會西方作戰

(南支廣東省) 自九月中旬、至十月上旬)

中支の長沙作戰に呼應し敵第七戰區に
痛撃を與へ、かつ新會西方においては密
輸入路を覆滅す。

敵交戦兵力五萬、遺屍六千三百、捕虜

七百、火炮四十、重輕機五十六、小銃

二千五百、油類一萬五千罐

(六) 沁河作戰

(北支山西省南部) 自九月下旬)

沁水地區において敵第九十八軍および共産軍を包圍、潰滅的打撃を與ふ。

遺屍二千、捕虜五千、火炮十、重輕機百三十、小銃一千二百

(七)鄭州作戰

(北支河南省北部―自十月二日、至十月下旬)

大黃河を渡河して敵要衝鄭州に進攻し第一戰區の敵を撃破す。

遺屍五千、捕虜三百三十、火炮五、重輕機八十

(八)汾西作戰

(北支山西省西南部―自十月二十六日、至十一月十日)

絳州西方連技山脈の南部に蟄踞する蔣直系軍を撃滅し且つ禹門口等の黃河重要渡河點を確保せり。

遺屍一千五百五十、捕虜二千二百三十
火炮八、重輕機八十八、小銃八百二十

六

(九)信北作戰

(中支河南省南部―自十一月一日、至十一月八日)

長沙作戰間我が第一線附近に蠢動を繰返しつゝありし敵第五戰區八十五軍主力を撃碎す。

遺屍一千九百六十四、捕虜九十四、重輕機十四、小銃百五十八

(十)魯南作戰

(北支軍山東省南部―自十一月五日、至十二月下旬)

共産軍山東縱隊を捕捉撃碎せり。
遺屍五千二百、捕虜一千五百五十、火炮五、重輕機十五、小銃三千五百五十

(十一)香港攻略作戰

(南支―自十二月八日、至十二月二十一日)

(十二)陵川地區第二十七軍掃蕩作戰

(北支山西省東南部―自十二月九日、至十二月下旬)

蔣直系軍范漢傑麾下の第二十七軍を掃蕩す。

遺屍一千四百、捕虜四百、火炮六、重輕機二十一、小銃二千二百

(十三)皖浙作戰

(中支安徽、浙江省―自十二月十五日、至一月下旬)

江南敵第三戰區に大打撃を與ふ。
遺屍二千五百四十、捕虜二百六十三、火炮二、重輕機三十二、小銃三百八十

九

(十四)第二次長沙作戰

(中支湖南省東部―自十二月二十四日、至一月中旬)

湖南の要衝長沙を一月一日再び攻略し第九戰區の敵軍を撃碎せり。

遺屍五萬七千、捕虜一千九百五十、火炮七十五、重輕機六百七十五、小銃五千四百二十

(十五)太湖周邊掃蕩作戰

(中支江蘇省南部―自一月十二日、至三月中旬)

太湖周邊に蠢動の敵中央軍を撃碎す。

遺屍三千五百、捕虜一千三百三十、火砲一、重輕機四十六、銃器一千五百六

十
(十六) 惠州地區掃蕩作戰

(南支廣東省—二月上旬)

惠州附近の敵軍を掃蕩す。

遺屍五百、銃器類八百

(十七) 山東中部作戰

(北支山東省—自二月上旬、至二月下旬)

于學忠軍を掃蕩す。

遺屍千五百、銃器類六百

(十八) 山西省冬季肅清作戰

(北支山西省—自二月上旬、至三月上旬)

山西省全域に互り敵軍を掃蕩肅清せり

遺屍三千五百、捕虜二千七百、火砲五

重輕機三十八、小銃四千

(十九) 山西西部地區作戰

(北支陝西省東部および山西省西部—自

三月十五日、至六月)

黃河對岸陝東地區及び山西の蔣軍に痛

撃を與ふ。

三月末日までの戦果—遺屍一千六百、

捕虜歸順一千六百、火砲二、重輕機百

四十、小銃一千一百

(二十) 冀南作戰

(北支河北省南部—自四月二十九日、至

五月十五日)

冀南軍區共產軍および高樹勳軍を捕捉

撃滅す。

遺屍六千五百八十、捕虜三千百三十、

火砲五、重輕機四十六、小銃二千九百

七十

(二一) 冀中作戰

(北支河北省中部—自五月一日、至六月

下旬)

呂正操麾下の冀中軍區共產軍を撃滅す

遺屍九千百、捕虜五千二百、火砲百九

十五、重輕機六十六、小銃八千四百六

十

(二二) 晋冀豫省境作戰

(北支—自五月下旬、至六月)

劉伯承麾下の共產軍および中央軍を掃

蕩。

六月十三日までの戦果—遺屍二千三百

捕虜一千百、火砲四、重輕機三十四、

小銃九百八十

(二三) 浙贛作戰

(中支浙江、江西省—自五月十五日、至

六月)

過去の中原作戰、長沙作戰にも匹敵す

べき大進攻作戰にして第三戰區主力およ

び増援の第九戰區軍を挾撃撃碎しかつ敵

空軍基地ならびに浙贛ルートを覆滅せり

六月上旬までの戦果—遺屍一萬六千九

百三十、捕虜七千五百二十、火砲八十

七、重輕機三百七十八、小銃等四千四

百七十

(二四) 廣東北方および西方作戰

(南支廣東省—自五月三十一日、至六月)

中支の浙贛作戰に策應し敵第七戰區に

痛撃を與ふ。

一日獨總統大本營は東部戰線の南部分

面において大攻勢を開始した旨發表した

が、たま／＼同日難攻不落を誇るソ聯黒海の要衝セバストポリも獨羅軍の猛攻により陥落し、さらにニジブトではロメル將軍麾下の獨伊軍は破竹の進撃を續け地中海の英大根據地アレキサンドリアを指

呼の間に望んでゐる、かくて東亞における皇軍の大戦果とともに樞軸國の凱歌は愈高らかに擧げられてゐるが、これが今後の戦局および國際に如何に響くか本社はベルリン支局の茂木特派員を電話に呼出し左の如くその間の事情を聴取した。

獨當局發表によれば、六月中に敵船舶百五十六隻合計八十八萬六千トンを撃沈した、この中獨潜水艦が破壊した船舶は百三十二隻合計七十五萬五千三百トンである。

昨年十二月八日西南太平洋上に米英撃滅の火蓋を切つて以來帝國海軍は逐次米英の海上勢力を捕捉撃滅し去り今や太平洋、印度洋は完全に我が制壓下にある、この間支那方面海軍部隊も、またこれに

呼應して作戦の歩を進め着々戦果をあげた、大東亞戰開始以來本年六月十八日までの綜合戦果は次の通りである。

一、敵に與へた損害

遺棄死體五、二三一、俘虜一、二三六、

撃沈艦船一一〇、拿捕艦船八九五

一、一鹵獲兵器その他

銃砲四、八四四、銃砲彈藥同彈藥包三、

一〇〇、九二五、手榴彈三、六六六、檢

索せる船舶一八、七七九、處分機雷一

五五

この間我が方の尊き損害は戦死一六〇名、戦傷一二八名である。

晋南戦線の則界村(林縣南西二十キロ)附近の溪谷に最後の反撃を繰かへす第二十七軍の敗敵を挾撃着々と戦果を擴大、

敗敵殲滅の期は時間の問題となつた。また則界村谷地區の殲滅戦に協力すべく迂回した柿部隊は陵川東方二十四キロ

附近の嶺東村方面で二日拂曉百六旅の主力一千を撃滅、敵は遺棄死體百、追撃砲

三、重機六、小銃二百三十などを遺し敗走した。

一日夜半月明を利用して烏鎮城に突入したわが精銳は引續き城内および周邊の敵を掃蕩、三日朝には烏鎮城内外の重要軍事施設を悉く撃破するとともに一部兵力をもつて敵第八戰區北方抵抗線の前衛據點烏蘭腦包を奇襲攻略、ここに烏鎮附近の敵據點を全く潰滅し去つた、今次烏鎮攻略戦における三日すでに判明せる戦果左のごとし。

△敵遺棄死體三三三△鹵獲品Ⅱ重機二小銃二七、同彈藥二〇二六、手榴彈一

一五、追撃砲六

七月四日

農地開發法第四十二條ノ規定ニ依リ法人税及營業税ノ免除ニ關スル件(大藏省令第五四號)蠶蛹及蠶蛹油粕最高販賣價格指定(農林省告示第四六八號)骨粉等販賣價格指定昭和十五年十一月告示第五九四號中改正(農林省告示第四七〇號)干

蠶蛹、干蠶蛹粉末、蠶蛹油船及蠶蛹油粉末
販賣價格指定(農林省告示第四七〇號)中
古品名書籍販賣價格指定昭和十六年三月
告示第二四七號中改正(商工省告示第七
四六號)公布

七月五日

和建國軍黃衛軍は二日より皇軍と協
力し新四軍第十五旅の根據地揚氣背(應
城南方二十五キロ)を奇襲し、同方面に
蠢動する新四軍を完全に覆滅したが、四
日までのわが戦果左の如し。

敵遺棄死體三八〇、俘虜三〇、小銃九
六、覆滅せる敵機銃〓抗日大學、病院
兵舎その他多數

重光駐支大使は支那事變五周年を迎へ
るに當り五日世界戦争の現場が樞軸側に
決定的な優勢裡に展開され、帝國は東亞
の廣大なる地域に未曾有の大作戦を遂行
しつゝ重慶に對する包圍態勢を完成した
こと、かくて大東亞戦争はいまや第二段
階たる建設期に入つたことを指摘したの

ち國民政府は遷都以來こゝに二年有餘、
同甘共苦の精神をもつて大東亞戦争完遂
に協力しつゝあり、東亞を解放し、東洋
精神文明を昇揚してアジア民族の共存共
榮を實現せんとする帝國の使命達成のた
めには東亞諸民族、特に日華兩國が相共
に提携進進すべきことを強調した。

七月六日

地張提燈其ノ部分品最高販賣價格指定
(商工省告示第七四八號) 炭素質電極(水
銀整流器用電機極、真空管用電極、弧光
燈用電極、熔接用電極、電信電話器用炭
素質品解汞板、自燃電極ヲ除ク) 最高販
賣價格指定(商工省告示第七四九號) 電
氣車用蓄電池、集魚燈用蓄電池及船舶無
線用蓄電池最高販賣價格指定(商工省告
示第七五〇號) 透明器具最高販賣價格指
定昭和十七年二月告示第二一七號中改正
(商工省告示第七五一號) 亞鉛華最高販賣
價格指定(商工省告示第七五二號) 公布
大本營發表 支那事變勃發以降五箇年間

における支那方面帝國陸海軍部隊の綜合
戦果茲に我方の損害左の如し。
綜合戦果十七年六月中旬まで

(一) 敵の遺棄死體〓約二百三十三萬八千
(二) 撃沈破艦船〓巡洋艦七隻、驅逐艦一
隻、砲艦十二隻、その他約百三十隻

(三) 撃墜破飛行機〓約二千八百機

(四) 主要なる鹵獲品〓各種火炮五千門、

重機關銃二萬四千二百挺、小銃六十
萬三千四百挺、自動車(戰車、裝甲車
を含む) 三千輛、鐵道車輛二千七百六
十輛

(五) 拿捕船舶舟艇約千四百八十隻

(六) 處分せる機雷數〓約七千五百個

我方の損害

戦死〓本年五月以降の戦死者(調査未
了)を含まず〓十一萬一千百一十一名、
喪失飛行機〓二百四十機

重慶來電によれば日本航空部隊は四、
五の兩日にわたり湖南省衡陽および零陵
を猛襲、衡陽では壯烈な空中戦を展開し

四日改編配備についたばかりの在支米空軍に多大の損害を與へ、その心膽を寒からしめるとともに、飛行場その他の軍事施設を爆砕した。

重慶來電によれば日本航空部隊は四日廣西省東部の要衝たる懷集賀縣を急襲、賀縣では激烈なる空中戦が行はれた、また日本軍は二回にわたり廣西省省都桂林を爆撃、在支米空軍の蠢動を制壓した。

最近二箇月における武漢周邊地區の戦況左のごとし(今次江西方面作戦を除く)

軍は五月初旬有力部隊をもつて敵第二百二十八師主力を沔陽鎮に撃砕、六月中旬他の精銳部隊をもつて沙市南方郝穴周邊地區に侵入せる第一百十六師、榮譽第一師等を包圍撃滅せるなど二百回におよぶ大小出撃を敢行して敵抗戦力を破砕治安上著しき効果を擧げたり、兩月間に敵第一線部隊ならびに敵側將士にして抗戦に絶望繼然和平陣營に参加を申し出で来るもの挺身第十五支隊以下五千を數ふるに至

れり五、六月における綜合戦果左のごとし。

△五月 敵遺棄死體二、六五八、捕虜三四

二、鹵獲品迫撃砲四、重輕機三一、小

銃四四六、歸順者四、四三八

△六月 敵遺棄死體三、八一三、捕虜三〇

二、鹵獲品迫撃砲二、重輕機一八、小

銃七五六、擲彈筒六、歸順者八六九

現地軍當局は去る五月上旬より行はれた數次の山西省内蔣共兩軍肅正作戦の綜合戦果を六日つきのごとく發表した、

△敵遺棄死體一萬一千九百二十八△捕

虜四千四百二十四

七月七日

農林水産團體職員設置補助規則(農林省令第五六號) 北海道産ノ小豆類、菜豆類及豌豆類共ニ府縣産小豆最高販賣價格指定昭和十七年三月告示第一〇四號中改正(農林省告示第四七四號) 麵類(素麵、干饅饅、冷麥、平麵及玉饅饅ヲ除ク) 販賣價格指定昭和十五年九月告示第五四四號

中改正(農林省告示第四七五號) 食用漬物乾物及ジャム販賣價格指定昭和十五年十一月商工農林省告示第二一號中改正(農

林省告示第四七六號) 天行走行電氣起重

機用標準型三相交流誘導電動機及同附屬

品最高販賣價格指定(商工省告示第七五

四號) 鐵線製特殊釘最高販賣價格指定(商

工省告示第七五五號) 公布

五年前のけふ、蘆溝橋畔の曉闇を衝いて抗日支那軍に加へられた膺懲の第一撃

は、支那事變滿五年、大東亞戰爭七箇月

のけふ、八紘爲宇の大旗のもと廣袤五千

萬平方キロの戦面に戦果燦たる大東亞建

設となつて迎へられた、興亞の人柱とな

つて大陸に散つた十一萬一千百十一柱の

英靈に新たに捧げる感謝の誠は、一億國民

民が、けふの日もなほ勇戦力闘する皇軍

將兵に劣らじと聖戦完遂に邁進する鐵石

の決意に外ならない。

海軍省公表 昭和十六年十二月八日にお

ける布哇海戦參加部隊に對し聯合艦隊司

令長官より左の通り感状を授與せられ右の旨上聞に達せられたり。

感状

布哇海戰參加部隊

昭和十六年十二月八日開戰頭長驅敵布哇軍港を奇襲しその飛行機隊をもつて敵米國太平洋艦隊主力および所在航空兵力を猛撃してたちまちその大部を撃滅したるは爾後の作戰に寄與するところ極めて大にしてその武勳顯著なりと認む、仍て茲に感状を授與す

昭和十七年四月十五日

聯合艦隊司令長官 山本五十六

海軍公表 布哇攻撃の參加部隊戦死者に對し昭和十六年十二月八日附とくに二階級を進級せしめられたり。

海軍大尉 牧野 三郎

同 飯田 房太

同 鈴木 三守

任海軍中佐

陸軍司政長官發令

時局日誌

山梨縣知事 高野 源進

山形縣知事 山内 繼喜

愛媛縣知事 皇田 昌福

高知縣知事 服部 直彰

北海道廳總務部長 武政 隆一

神奈川縣經濟部長 渡邊 廣

三重縣總務部長 岩重 隆治

秋山縣總務部長 山本 義章

新潟縣警察部長 中村 元治

兵庫縣警察部長 竹谷源太郎

内務省監察官 關 外余男

内務書記官 床次 德二

元埼玉縣知事 宮野 省三

元富山縣知事 矢野 兼三

東京市理事 中屋 重治

任陸軍司政長官

地方長官發令

厚生省會計課長 堀田 健男

任奈良縣知事

大阪府總務部長 多湖 實夫

任山梨縣知事

臺灣總督府警務局長 荒木 義夫

任福島縣知事

警視廳警務部長 齋藤 亮

任山形縣知事

情報局情報官 兼内務事務官 福本 柳一

任愛媛縣知事

福岡縣總務部長 沖野 悟

任高知縣知事

内務省企畫課長 西廣 忠雄

任警視廳警務部長

厚生省生活 同生活課長 中島 賢藏

任内務省地方行政課長

山口縣書記官 郡 祐一

任内務省地方局振興課長

福島縣書記官 鈴木 幹雄

任内務省國土局河川課長

外部長課長地方廳部長等百十名の交迭があつた。